



札幌驛前に於ける松本、平井、
クロフオード三氏の胸像

.....
題 言
.....

技術者の偉勳は輝く北海の天地

——札幌より一筆申上候——

七月十五日午前十時札幌驛前に於て故松本莊一郎、故平井晴二郎、故ジョセフ・クロフオード三氏の胸像除幕式は嚴肅に舉行せられ候

參列者は東京より松本亟治、野村龍太郎、國澤新兵衛の三博士及び平井博士の遺族其他にて、當地の大學、道廳、鐵道局其他の官衛關係民間の名士多數に及び候

胸像は札幌驛前廣場の北側に松本氏を中央とし左右に平井、クロフオード兩氏の像を列せられ候像は東京の美術學校教授水谷鐵也氏指導の下に白井陸雄氏の製作になるものにして其顔容生けるが如く申分なき出來榮えご存候近く廣井博士の銅像も同氏等の手に依り製作を終る由に候

三氏の像の背後は札幌鐵道局の大建物あり前面は廣場を隔て御眞影奉安所と相對するの好位置に候

式後豊平館に於ける午餐會にて北大總長佐藤老博士の卓上演説に述べられたる如く、昔の事蹟が漸く忘れられんごする時北海道の鐵道創設に大功ありし三氏の像を得て五十年の昔を新に偲ぶ事と相成り、此處に永久に意義ある記念を形造られたるものに候尙ほ老博士は順々として松本莊一郎氏に接したる懷舊談を試みられ當時の史料としてみても大に參考と致すべき高説ご存候尙ほ國澤博士は委員長として今回の舉式を無事終了せる喜悅を述べられ候其中に最も謹聽すべきは、今回の三氏の胸像

建設の主唱者にして發起人の一人たりし廣井博士が遂に今日の除幕式を見ずして逝かれしは最大の遺憾なりと述べられし事に候列席の來賓一同まことに嚴肅の感に打たれ申候

實に廣井博士は生前に於て既に北海道に於ける門弟諸士が主唱して銅像を建設して贈らん事を乞ひたるに確く之を辭せられ、却つて松本、平井、クロフオード三氏の像を建設する事を主唱せられたる由に候然も常に表面にたゞずして此舉のために盡力せられたるものに候其廣井博士ご種々打合せ相談をせられたる國澤博士の今日の感概又無量のものご被存候

若し廣井博士今日存命ならば今日の除幕式も一層の盛大なるべく、恐らく廣井博士も此の由緒ある豊平館の大食堂にあの温顔を以て舊友と談笑せられし事ご存候而して其時は小生はもごより其席上にあらざるべく候有爲轉變の世の中に候哉 (七月十五日札幌にて岡崎生)

先づ汗、而して涼

冷氣骨に徹する水車の側りに立ち、轟々たるランナーの響きに炎暑を忘れる、山間の發電所を訪ふの趣味は實に技術者特有の見學旅行であり絶好の探涼方法である。徒らに雑踏の海水にひたる如きは自他俱に何等の意味をなさない、小閑と小費を以て努めて汗を流して山間に浩然の氣を養ふべしである。其前提として先づ本號を薦める。

現在使用中のホローダム表				
	高尺	主要部 延長	天端 長	底巾
函館市水道貯水池	71.5	432.0	7.0	93.0
岡山縣、中國合同電氣會社、恩原貯水池	71.0	240.0	7.5	91.0
樺太、樺太工業會社、手井澤貯水池	70.0	480.0	—	—
新潟縣、東京發電會社(舊信越電力)秋成村調整池	68.0	360.0	9.6	72.0
富山縣、中越水電會社、小口川松立調整池	69.0	140.0	7.5	74.0
富山縣、縣營水電、眞川調整池	56.0	240.0	7.5	70.0